

2021年1月29日

上場会社名 京成電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9009 URL <https://www.keisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長 (氏名) 湯本 康人

TEL 047-712-7100

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	155,342	25.4	11,943		20,189		19,314	
2020年3月期第3四半期	208,363	7.1	28,360	5.0	43,897	2.6	33,581	2.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 19,170百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 35,331百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	114.55	
2020年3月期第3四半期	198.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	897,443	406,838	43.3
2020年3月期	905,716	428,664	45.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 388,649百万円 2020年3月期 411,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		8.50		8.50	17.00
2021年3月期		8.50			
2021年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	219,100	20.3	13,700		26,700		26,200		155.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	172,411,185 株	2020年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,877,519 株	2020年3月期	3,704,399 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	168,620,224 株	2020年3月期3Q	169,183,622 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期決算補足説明資料は、当四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8
(追加情報)	P8
3. 四半期決算補足説明資料	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）の影響により、急速に減少した個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、企業収益は大幅な減少が続いており、雇用情勢に弱さが見られるなど、極めて厳しい状況にあります。

このような状況の中で、当社グループは、お客様及び従業員への感染防止の措置を講じた上で需要動向を踏まえ事業を運営しております。また、中期経営計画E4プランの基本方針である「グループ経営強化による収益拡大の確実な実現」、「安全かつ安心なサービスの提供」、「社会的要請に対応した経営推進体制の確立」に基づき諸施策を推進してまいりました。

しかしながら、入国制限による訪日外国人の激減に加え、外出の自粛等による消費の急激な縮小等の影響を受け、営業収益は1,553億4千2百万円（前年同期比25.4%減）となり、営業損失は119億4千3百万円（前年同期は営業利益283億6千万円）となりました。経常損失は、持分法投資損失の計上により201億8千9百万円（前年同期は経常利益438億9千7百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は193億1千4百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益335億8千1百万円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

感染症対策として、業界団体のガイドライン等に基づき、従業員のマスク着用、消毒、換気に加え、お客様が手を触れる箇所を中心に鉄道・バス車両等への抗菌・抗ウイルス加工等を実施いたしました。

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、成田空港駅にホームドアを設置したほか、西登戸駅の耐震補強工事等を進めました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、京成立石駅の仮駅舎新設工事を推進いたしました。

営業面では、感染症の影響に伴う社会情勢を踏まえ、5月よりスカイライナーの一部運休を実施いたしました。また、押上・都営浅草線・京急線方面における成田空港アクセスの更なる利便性向上のため、4月より当面の間、スカイライナーの一部列車の青砥駅停車を開始いたしました。さらに、関係当局の指導のもと、成田空港を利用し帰国・入国された方を対象に、スカイライナーの専用車両やハイヤー等により移動いただく新たな輸送サービス「KEISEI SMART ACCESS」を12月より開始いたしました。このほか、成田スカイアクセス開業10周年を記念して、記念ヘッドマークを掲出した車両を運行したほか、記念乗車券の発売等を実施いたしました。

バス事業では、感染症の影響に伴う成田空港発着航空便の運休・減便及び東京ディズニーリゾートの臨時休業等を踏まえ、高速バス路線において運休・減便を実施いたしました。7月の東京ディズニーリゾートの運営再開に伴い、関係路線の運行を徐々に再開いたしました。また、一般乗合バス路線においては、成田市内等で新規路線の運行を開始したほか、2022年度以降の本格運行に先立ち、10月より東京都心と臨海地域を結ぶ東京BRT（バス高速輸送システム）のプレ運行を開始いたしました。

タクシー事業では、帝都自動車交通株式会社において、AIとドライブレコーダーの機能を活用して交通事故削減を支援するシステムを導入し、更なる安全輸送の提供に努めたほか、乗務員を介さずに決済可能なセルフレジ型端末を導入し、お客様サービスの向上に努めました。

しかしながら、感染症の影響を受けた外出の自粛や訪日外国人の激減等により、営業収益は784億1千1百万円（前年同期比36.3%減）となり、営業損失は178億8千3百万円（前年同期は営業利益202億9千5百万円）となりました。

<流通業>

百貨店業では、日立市の商業施設内において、3月にサテライトショップ「KEISEI & sole」をオープンいたしました。

ストア業では、株式会社京成ストアにおいて、フランチャイズ契約に基づき「業務スーパー町屋店」を新たにオープンいたしました。

しかしながら、感染症の影響を受けた外出の自粛や、休業要請等を背景とした一部施設の営業一時休止等によ

り、営業収益は449億7百万円（前年同期比10.9%減）となり、営業損失は3千5百万円（前年同期は営業利益2億5千万円）となりました。

<不動産業>

不動産賃貸業では、船橋市湊町の賃貸住宅等が稼働したほか、水戸市三の丸及び船橋市前原西の賃貸施設を取得いたしました。また、2021年度のオープンを目指し、墨田区江東橋と墨田区押上において、「京成リッチモンドホテル」2号店、3号店の工事を推進しております。

不動産販売業では、中高層住宅「サングランデ本八幡」を好評のうちに計画よりも早期に全戸引き渡ししたほか、今年度中に引き渡し予定の中高層住宅「サングランデ八王子」及び2021年度以降に引き渡し予定の中高層住宅「パークホームズ千葉」を販売いたしました。

しかしながら、営業収益は175億5千6百万円（前年同期比8.3%減）となり、営業利益は65億7千9百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

<レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業では、京成ホテルミラマーレ、水戸京成ホテル及び京成リッチモンドホテル東京門前仲町において、テレワーク需要に対応するためのデユースプランを販売いたしました。また、京成トラベルサービス株式会社において、感染症の状況を考慮した上で、京成線内を特別行路で運行する各種のイベント列車ツアーを実施したほか、沿線や京成グループの魅力を紹介する多様な旅行商品の企画・催行により、収益の確保に努めました。

しかしながら、感染症の影響を受けた外出の自粛や、休業要請等を背景とした一部施設の営業一時休止等により、営業収益は48億7千1百万円（前年同期比36.5%減）となり、営業損失は15億1千9百万円（前年同期は営業利益1億2千8百万円）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事や当社グループ外から受注している各種工事を実施いたしました。

しかしながら、営業収益は158億9千1百万円（前年同期比6.9%減）となり、営業利益は7億7百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比82億7千3百万円（0.9%）減の8,974億4千3百万円となりました。これは、持分法適用会社株式の減少により「投資有価証券」が減少したことによるものです。

負債合計は、前期末比135億5千2百万円（2.8%）増の4,906億5百万円となりました。これは、有利子負債が増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比218億2千5百万円（5.1%）減の4,068億3千8百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により「利益剰余金」が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の再発出等により今後の業績に与える影響が不透明であることから、2020年10月30日に公表した数値を据え置いております。

今後の動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,084	32,815
受取手形及び売掛金	22,129	19,627
分譲土地建物	6,861	7,177
商品	2,187	2,313
仕掛品	799	1,780
原材料及び貯蔵品	3,053	3,333
その他	11,940	12,643
貸倒引当金	△27	△19
流動資産合計	74,027	79,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	290,454	285,236
機械装置及び運搬具(純額)	24,978	21,850
土地	180,720	184,179
リース資産(純額)	38,635	37,974
建設仮勘定	37,272	40,399
その他(純額)	3,284	2,894
有形固定資産合計	575,345	572,534
無形固定資産		
リース資産	1,214	1,101
その他	10,683	10,984
無形固定資産合計	11,898	12,086
投資その他の資産		
投資有価証券	226,131	212,295
長期貸付金	371	368
繰延税金資産	13,534	16,110
その他	4,313	4,081
貸倒引当金	△145	△156
投資その他の資産合計	244,204	232,699
固定資産合計	831,448	817,320
繰延資産	239	451
資産合計	905,716	897,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,147	13,861
短期借入金	55,832	51,855
コマーシャル・ペーパー	16,000	2,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
リース債務	6,442	6,600
未払法人税等	4,500	1,705
前受金	24,406	27,046
賞与引当金	3,409	1,623
役員賞与引当金	53	24
その他	33,273	27,297
流動負債合計	176,065	132,015
固定負債		
社債	50,450	90,450
長期借入金	128,276	148,000
鉄道・運輸機構長期未払金	46,518	45,025
リース債務	26,913	26,214
繰延税金負債	1,572	1,746
役員退職慰労引当金	358	312
退職給付に係る負債	35,600	35,500
その他	11,297	11,338
固定負債合計	300,987	358,589
負債合計	477,052	490,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,365	28,385
利益剰余金	350,556	328,874
自己株式	△5,532	△6,184
株主資本合計	410,192	387,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,390	2,190
繰延ヘッジ損益	16	△11
退職給付に係る調整累計額	△1,570	△1,408
その他の包括利益累計額合計	837	770
非支配株主持分	17,634	18,188
純資産合計	428,664	406,838
負債純資産合計	905,716	897,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業収益	208,363	155,342
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	150,848	140,137
販売費及び一般管理費	29,155	27,148
営業費合計	180,003	167,286
営業利益又は営業損失(△)	28,360	△11,943
営業外収益		
受取利息	108	180
受取配当金	404	277
雇用調整助成金	—	2,489
持分法による投資利益	16,284	—
雑収入	983	1,467
営業外収益合計	17,780	4,414
営業外費用		
支払利息	1,757	1,844
持分法による投資損失	—	10,255
雑支出	484	559
営業外費用合計	2,242	12,659
経常利益又は経常損失(△)	43,897	△20,189
特別利益		
工事負担金等受入額	199	343
負ののれん発生益	1,427	—
その他	118	32
特別利益合計	1,746	375
特別損失		
臨時休業による損失	—	306
固定資産圧縮損	175	284
固定資産除却損	380	200
段階取得に係る差損	362	—
その他	412	52
特別損失合計	1,330	843
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	44,313	△20,656
法人税、住民税及び事業税	8,057	1,186
法人税等調整額	1,076	△2,726
法人税等合計	9,133	△1,540
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,180	△19,116
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,598	198
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	33,581	△19,314

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,180	△19,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	277	131
退職給付に係る調整額	134	178
持分法適用会社に対する持分相当額	△260	△363
その他の包括利益合計	151	△53
四半期包括利益	35,331	△19,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,723	△19,381
非支配株主に係る四半期包括利益	1,607	211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	122,500	49,977	14,666	5,788	11,773	3,656	208,363	—	208,363
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	501	406	4,476	1,888	5,288	3,488	16,049	△16,049	—
計	123,002	50,384	19,142	7,676	17,062	7,144	224,413	△16,049	208,363
セグメント利益	20,295	250	6,773	128	809	335	28,593	△233	28,360

(注)1 セグメント利益の調整額は、子会社株式の取得関連費用、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	78,101	44,555	13,696	3,909	11,713	3,367	155,342	—	155,342
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	310	352	3,860	962	4,177	2,528	12,191	△12,191	—
計	78,411	44,907	17,556	4,871	15,891	5,895	167,533	△12,191	155,342
セグメント利益又は損失(△)	△17,883	△35	6,579	△1,519	707	241	△11,909	△34	△11,943

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行う上での、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定については、感染拡大による緊急事態宣言再発出等の状況の変化はありますが、第2四半期連結会計期間末時点から重要な変更はありません。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の影響がさらに長期化した場合は、連結財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

3. 四半期決算補足説明資料

I 連結損益計算書

・新型コロナウイルス感染症の影響による減収額: **630億円**

(内訳: 鉄道事業280億円、バス事業180億円、タクシー事業70億円、流通業55億円、その他45億円)

・第3四半期(10~12月)は、第2四半期以降の回復基調が継続し、営業利益を計上

単位: 百万円、%		2019.3Q累計 実績	2020.3Q累計 実績	増 減	率	(参考)	
						2020.3Q会計 (10~12月)	対前年同期 増減
運輸業	営業収益	123,002	78,411	△ 44,591	△ 36.3	29,230	△ 13,580
	営業利益	20,295	△ 17,883	△ 38,178	-	△ 2,482	△ 9,100
流通業	営業収益	50,384	44,907	△ 5,477	△ 10.9	15,472	△ 1,119
	営業利益	250	△ 35	△ 285	-	△ 56	△ 39
不動産業	営業収益	19,142	17,556	△ 1,586	△ 8.3	6,899	1,210
	営業利益	6,773	6,579	△ 194	△ 2.9	2,483	325
レジャー・サービス業	営業収益	7,676	4,871	△ 2,804	△ 36.5	2,077	△ 933
	営業利益	128	△ 1,519	△ 1,648	-	△ 264	△ 429
建設業	営業収益	17,062	15,891	△ 1,171	△ 6.9	5,374	△ 792
	営業利益	809	707	△ 101	△ 12.6	196	△ 127
その他の事業	営業収益	7,144	5,895	△ 1,249	△ 17.5	2,454	△ 410
	営業利益	335	241	△ 94	△ 28.2	206	53
小 計	営業収益	224,413	167,533	△ 56,879	△ 25.3	61,507	△ 15,625
	営業利益	28,593	△ 11,909	△ 40,503	-	82	△ 9,318
連結修正	営業収益	△ 16,049	△ 12,191	3,858	-	△ 5,666	1,110
	営業利益	△ 233	△ 34	199	-	△ 11	148
連 結	営業収益	208,363	155,342	△ 53,020	△ 25.4	55,841	△ 14,515
	営業利益	28,360	△ 11,943	△ 40,303	-	71	△ 9,170
営業外収益		17,780	4,414	△ 13,366	△ 75.2	1,255	△ 5,659
営業外費用		2,242	12,659	10,416	464.5	1,588	897
経 常 利 益		43,897	△ 20,189	△ 64,086	-	△ 261	△ 15,726
特 別 利 益		1,746	375	△ 1,370	△ 78.5	46	△ 1,501
特 別 損 失		1,330	843	△ 486	△ 36.6	57	△ 870
税金等調整前四半期純利益		44,313	△ 20,656	△ 64,970	-	△ 272	△ 16,357
法 人 税	法人税等	8,057	1,186	△ 6,870	△ 85.3	359	△ 1,685
	同調整額	1,076	△ 2,726	△ 3,803	-	107	△ 896
	計	9,133	△ 1,540	△ 10,674	-	467	△ 2,581
四 半 期 純 利 益		35,180	△ 19,116	△ 54,296	-	△ 739	△ 13,775
非支配株主に帰属する四半期純利益		1,598	198	△ 1,400	△ 87.6	296	△ 334
親会社株主に帰属する四半期純利益		33,581	△ 19,314	△ 52,896	-	△ 1,036	△ 13,441

営業外収益

持分法による投資利益	16,284	—	—
雇用調整助成金	—	2,489	705

営業外費用

持分法による投資損失	—	10,255	840
------------	---	---------------	-----

■主要セグメントの内訳

・運輸業

単位:百万円、%		2019.3Q累計実績	2020.3Q累計実績	増減	率	(参考)	
						2020.3Q会計(10~12月)	対前年同期増減
鉄道事業	営業収益	63,805	37,331	△26,474	△41.5	13,620	△7,651
	営業利益	15,782	△7,494	△23,276	—	△886	△5,916
バス事業	営業収益	38,069	24,963	△13,106	△34.4	9,486	△4,569
	営業利益	4,141	△7,564	△11,706	—	△1,330	△2,716
タクシー事業	営業収益	21,127	16,117	△5,010	△23.7	6,122	△1,358
	営業利益	371	△2,823	△3,195	—	△265	△467
運輸業	営業収益	123,002	78,411	△44,591	△36.3	29,230	△13,580
	営業利益	20,295	△17,883	△38,178	—	△2,482	△9,100

[参考]鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

単位:千人、百万円、%		2019.3Q累計実績	2020.3Q累計実績	増減	率	(参考)	
						2020.3Q会計(10~12月)	対前年同期増減
輸送人員	定期	133,902	101,289	△32,613	△24.4	33,576	△9,325
	定期外	92,400	56,620	△35,780	△38.7	22,631	△7,540
	うち成田空港発着	(17,143)	(5,258)	(△11,885)	(△69.3)	(1,843)	(△3,758)
	うち有料特急	(4,887)	(751)	(△4,136)	(△84.6)	(305)	(△1,413)
	計	226,302	157,909	△68,393	△30.2	56,207	△16,865
旅客運輸収入	定期	16,561	12,626	△3,935	△23.8	4,155	△1,156
	定期外	34,255	14,275	△19,979	△58.3	5,790	△5,605
	うち成田空港発着	(16,945)	(2,939)	(△14,006)	(△82.7)	(1,150)	(△4,569)
	うち有料特急	(4,696)	(530)	(△4,165)	(△88.7)	(226)	(△1,431)
	計	50,817	26,902	△23,915	△47.1	9,945	△6,762

(注)輸送人員:千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入:百万円未満を切り捨てて表示しております。

・流通業

単位:百万円、%		2019.3Q累計実績	2020.3Q累計実績	増減	率	(参考)	
						2020.3Q会計(10~12月)	対前年同期増減
ストア業	営業収益	27,902	26,395	△1,507	△5.4	8,650	△722
	営業利益	173	273	99	57.1	33	4
百貨店業	営業収益	18,469	15,145	△3,323	△18.0	5,635	△279
	営業利益	△51	△297	△245	—	△92	△29
その他	営業収益	4,012	3,366	△646	△16.1	1,186	△116
	営業利益	128	△11	△139	—	3	△14
流通業	営業収益	50,384	44,907	△5,477	△10.9	15,472	△1,119
	営業利益	250	△35	△285	—	△56	△39

・不動産業

単位:百万円、%		2019.3Q累計実績	2020.3Q累計実績	増減	率	(参考)	
						2020.3Q会計(10~12月)	対前年同期増減
賃貸業	営業収益	10,173	11,006	833	8.2	3,687	△2
	営業利益	5,656	6,162	506	8.9	2,118	103
販売業	営業収益	5,659	3,646	△2,013	△35.6	2,378	1,525
	営業利益	911	273	△637	△69.9	326	275
管理業	営業収益	3,309	2,904	△405	△12.3	833	△311
	営業利益	206	142	△63	△30.7	38	△53
不動産業	営業収益	19,142	17,556	△1,586	△8.3	6,899	1,210
	営業利益	6,773	6,579	△194	△2.9	2,483	325

以上